

第15回～第17回の講座の詳細

◆第15回◆

【日時】2月28日(木) 18:30～20:00 (受付開始18:00)

【場所】ハービスENT 9階 貸会議室 (阪神電車 梅田駅西口から徒歩6分)

【テーマ・講師】「脳卒中にならないコツ」

兵庫医科大学病院 脳神経外科 (診療部長) よしむら しんいち 吉村 紳一

【講師コメント】

脳卒中は日本人の国民病と呼ばれており、とても多い病気です。しかも、寝たきりの最大の原因で、がん・心臓病に次ぐ死因第3位でもあります。ぜひとも予防して、健康で幸せな人生を送りたいものです。脳卒中はひとたび発症してしまうと大変です。ですから前もってその“種”を見つけ出し予防策を講じることが大切です。本講座では「脳卒中にならないコツ」と題して、日々の健康管理とお薬、そして予防手術まで、脳卒中予防に関する最新情報を詳しく解説します。

◆第16回◆

【日時】3月7日(木) 18:30～20:00 (受付開始18:00)

【場所】西宮市民会館1階 101室 (阪神電車 西宮駅 市役所口から徒歩1分)

【テーマ・講師】「本当にその症状、危なくないですか？ ～救命医のホンネ～」

兵庫医科大学病院 救命救急センター (センター長) ひらた じゅんいち 平田 淳一

【講師コメント】

「救急車はタクシーではありません」と、救急車利用の自粛が叫ばれています。でも、本当に救急車を呼ばなくても大丈夫か判断が付きますか？もちろん、助かる命を救命するため何でも呼ばれてしまっただけでは困りますが、慣例に従って「風邪だから寝ていたら治る」と、自然治癒力だけに期待されても困ります。時に、急激に意識が悪化することもあり、その予測はなかなか難しいものです。本当にその症状、危なくないですか？救命医のホンネを交えながら、救急車呼んで何が悪い、と言えるような予測ができるように症例を通して学んでみませんか？

◆第17回◆

【日時】3月16日(土) 14:30～16:00 (受付開始14:00)

【場所】西宮市民会館4階 401室 (阪神電車 西宮駅 市役所口から徒歩1分)

【テーマ・講師】「こどもの急病 その時どうしますか？」

兵庫医科大学病院 小児科 (診療部長) たけしま やすひろ 竹島 泰弘

【講師コメント】

急な発熱・咳・嘔吐。こどもの病気は突然発症します。特に夜間にそのような症状がみられると、お母さん・お父さんは気が気ではありません。「かぜかな」と思っている、重大な病気が隠れていることがあります。そのような時どうしたらいいのかを、一緒に考えてみたいと思います。また、普段元気そうに見えるこどもが、かぜなどをきっかけに急変する病気があります。そのような病気をあらかじめ見つけて発症を予防するために、赤ちゃん全員がうけるマスキリーニング検査があります。このような検査についても、触れたいと思います。